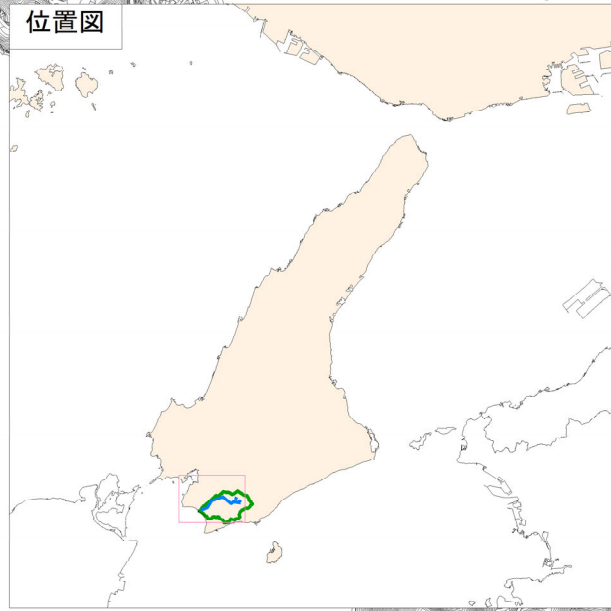
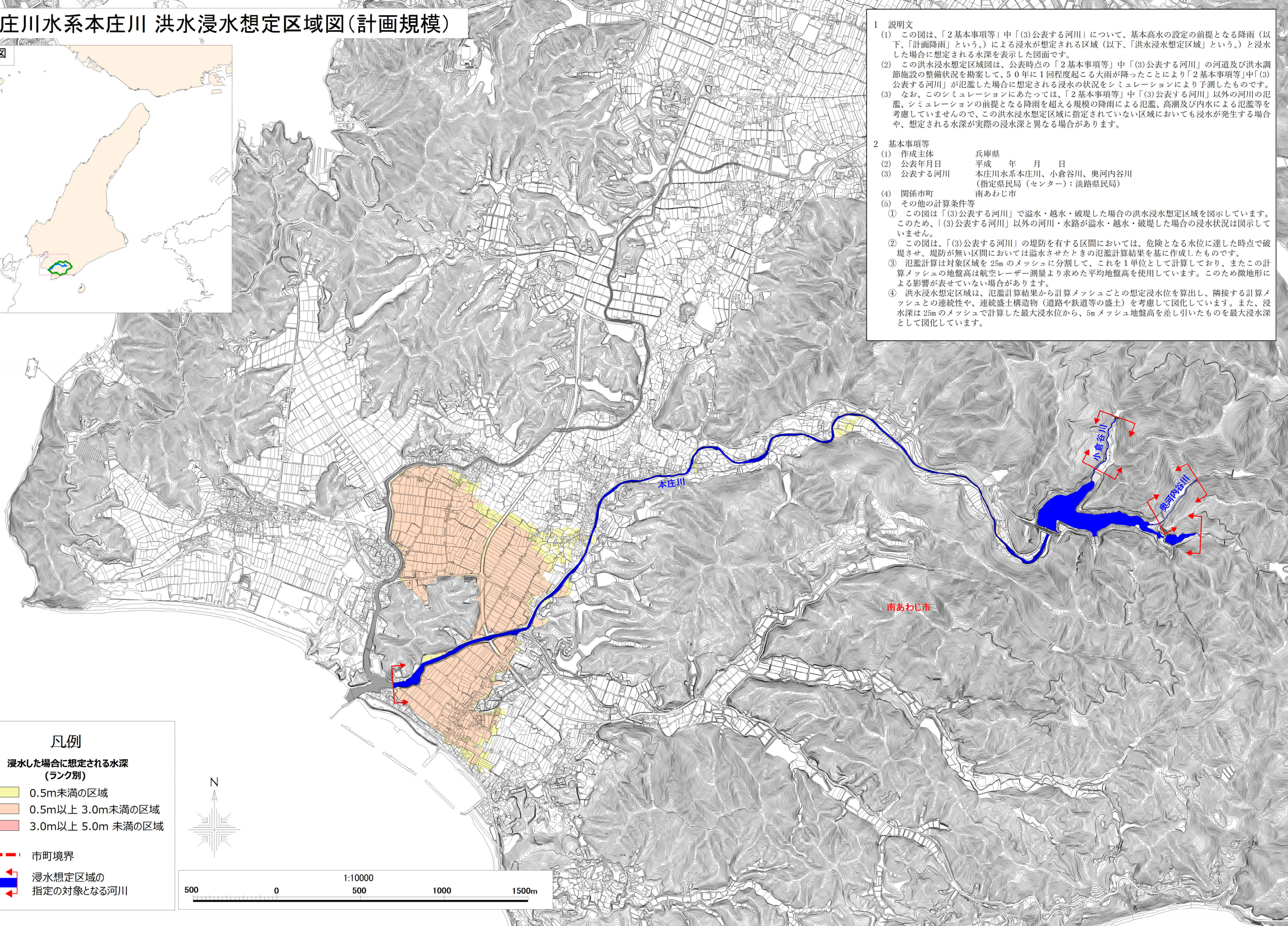


# 本庄川水系本庄川 洪水浸水想定区域図(計画規模)

位置図



- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨(以下、「計画降雨」という。)による浸水が想定される区域(以下、「洪水浸水想定区域」という。)と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
  - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、50年に1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
  - (2) 公表年月日 平成 年 月 日
  - (3) 公表する河川 本庄川水系本庄川、小倉谷川、奥河内谷川(指定県民局(センター):淡路県民局)
  - (4) 関係市町 南あわじ市
  - (5) その他の計算条件等
    - ① この図は「(3)公表する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
    - ② この図は、「(3)公表する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
    - ③ 氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
    - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25mのメッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュ地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。



## 凡例

浸水した場合に想定される水深  
(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m以上 3.0m未満の区域
- 3.0m以上 5.0m 未満の区域

- 市町境界
- 浸水想定区域の  
指定の対象となる河川

